

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第27回）

1. 日 時

令和7年1月22日（水） 15時30分から17時00分まで

2. 場 所

南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」 3階大研修室

3. 出席者

委員19名（うち代理4名）（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

- ・議題第1号 園福線の利用状況について（報告事項）
- ・議題第2号 令和6事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について⇒承認

6. 主な内容・意見

〈議題第1号 園福線の利用状況について〉

- 資料によると、平成30年から令和2年にかけて利用者が落ち込み、現在に至るまで数値が横ばいだが、コロナ禍が明けた以降も利用者数が戻っていないのはなぜか。
（事務局回答）詳しく分析できてはいないが、他の都市部の事業者のデータを見るとコロナ後は利用者する回復傾向が見られるため、園福線の利用者数が戻っていないということは課題であると考えている。
- 園福線の幹線系統の利用者数が一日あたり180.5人なのに対し、輸送量は26名とのことだが、なぜ輸送量が少ないのか。
（事務局回答）利用者の3割は近場で降りられる傾向があるため、路線全体で見たときに輸送量が少なくなってしまう。
- 須知高校への通学方法は園福線だけでなく、京丹波町営バスもあるので、園福線にだけ注視するのではなく、須知高校生がどの方面からどの路線に乗って通学しているのかなど、全体像を把握した上で利用促進に取り組む必要がある。

〈議題第2号 令和6事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について〉

- 資料2-3のP6の「(3)生産性向上の視点から取り組んだ事業」として、総合時刻表や交通マップの作成などが記載されているが、このような利用者が増加しそうにない取組、や利用者の増加を数値で評価できない取組は記載しない方が良いのではないか。
（事務局回答）ご指摘を踏まえて、近畿運輸局とも相談を行い、記載内容を精査させていただく。
- 鳥取県や京都市ではバスの停留所や駅の改札口でのバスのナンバリング表示が徹底されているが、園部駅に新たに設置された案内板にナンバリング表示がされていないなど、取組が不十分なのではないか。
（事務局回答）今後、関係者と調整しながら表示内容について検討していきたい。

〈その他：意見交換〉

- 一般社団法人森の京都地域振興社より、令和6年度に実施したJR沿線のにぎわいづくりの取組について報告があった。